

顛末書

会議の名称	北部地区小学校統合準備委員会 第3回 通学・安全部会
日時	平成29年6月1日(木) 午後6時30分～午後7時40分
会場	平岡小学校 視聴覚室
出席者等	<ul style="list-style-type: none"> ・出席委員13名 部会長 池田 信一 職務代理 小林 妙子 委員 長張むつ美、鈴木紀代子、須藤賢司、山崎麻希、岩下定秀、佐藤嘉男、宮澤和三、須藤克昌、佐藤秋穂、宮澤俊樹、松井真由美 ・事務局職員 小林学校教育課長、阿藤学校教育課長補佐兼総務係長、田中副主幹、池田指導主事
次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 部会長あいさつ 3 会議事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 通学方法等について (2) 次回の日程について 4 その他 5 閉会
主な質問・意見等	<ul style="list-style-type: none"> ●距離だけで、バス通学とするか、徒歩通学とするか決めないでほしい。 ●新たに通学路になるところは、安全点検が必要となる。高社大橋から平岡小学校までの通学路は、歩道がないので、徒歩で通学するにも危険である。 ●スクールバスは、どこの場所で乗降することとなるのか。現在の敷地内には、乗降場所がない。 ●登校班が一人の場合でも、歩くことになるのか。不安がある。 ●倭地区はどの地区も4キロの基準を超えている。また、赤岩境の児童は、倭小に通っている。そのあたりも考慮していくことが必要である。 ●通学路の歩道整備をするという確約がない限り、バスでの通学が適当と考える。 ●竹原の低学年は、現状徒歩通学だが、バス通学を望むことがあるのではないか。 ●おおよそ2～4キロの範囲であるが、小学生が、国道を渡るのは、不安が大きい。一端、長丘小学校まで歩き、そこから新しい小学校まで、バスで通学ということが考えられる。また、バス停は、1つとして、長丘小学校1か所とする案、もう1つの案として、古牧、壁田は、壁田研修センター、田麦、厚貝は、ふれあいセンターひまわりに集合することが可能かと考えている。また、田麦信号から若宮西信号までの間は、集落がないこと、歩道がないことから、小学生の徒歩通学は不安である。
今回のまとめと次回の検討事項	<ul style="list-style-type: none"> ●今回出された通学方法とその課題を整理し、次回確認を行う。 ●危険箇所を確認しながら、長丘、科野、倭地区の通学路を検討する。